

最近の経済動向

(ダイジェスト版)

令和6年3月号

(北海道の景気動向～令和6年1月の経済指標を中心として)

持ち直しの動きが続いている

■ 生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)
持ち直しの動きに足踏みがみられる

■ 需要動向(消費・投資)

P1 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、
インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)
着実に改善を続けている

P3 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減速感が強まっている

P3 公共工事(公共工事請負金額)
持ち直しつつある

P4 観光(来道者数、来道外国人数、宿泊者数)
着実に改善を続けている

P5 輸出入(輸出額、輸入額)
輸出額は前年を上回り、輸入額は下回った

■ 企業倒産

P5 企業倒産(倒産件数、負債総額)
企業倒産は前年と変わらず、負債総額は減少した

■ 雇用動向

P6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率、完全失業率)
持ち直しの動きにやや弱さがみられる

■ 物価動向

P7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

P7 企業経営者意識調査
前期から下降している

P8 企業のみなさまから伺いました

北海道経済部経済企画局経済企画課

生産活動～持ち直しの動きに足踏みがみられる

鉱工業生産指数(1月)

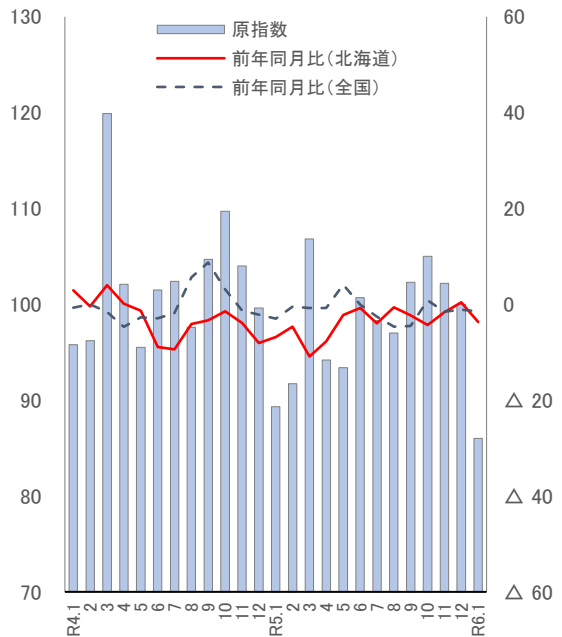
鉱工業生産指数の原指数は、86.0(2020年=100)で前年同月比△ 3.7%となり、2か月ぶりに前年を下回った。

季節調整済指数は、92.2となり、3か月ぶりに前月を下回った。

【原指数】

(2020年=100)

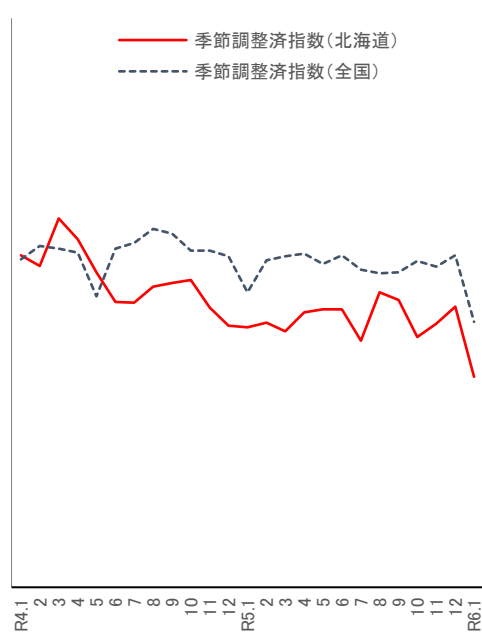
(前年同月比: %)



(資料:北海道経産局、経済産業省)

【季節調整済指数】

(2020年=100)



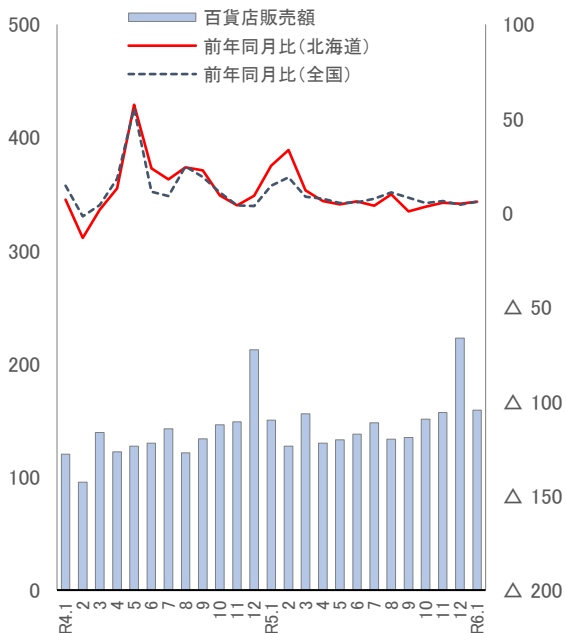
(資料:北海道経産局、経済産業省)

個人消費～着実に改善を続けている

百貨店販売額(1月)

百貨店販売額は、159億円で前年同月比+5.9%となり、23か月連続で前年を上回った。

(億円) (前年同月比: %)

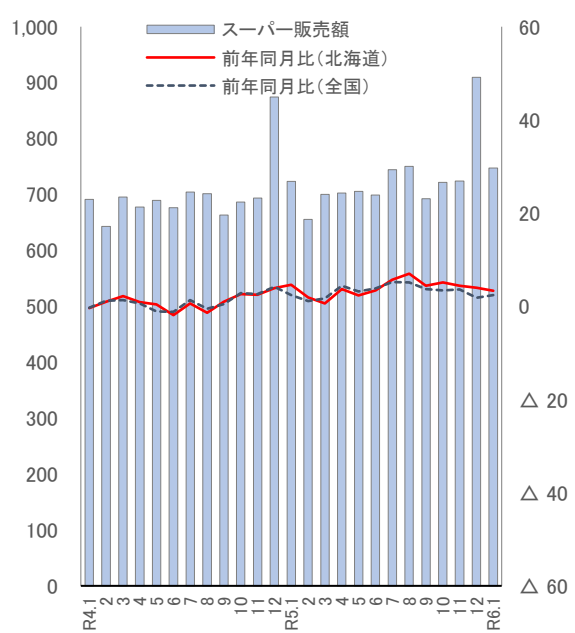


(資料:北海道経産局、経済産業省)

スーパー販売額(1月)

スーパー販売額は、747億円で前年同月比+3.3%となり、17か月連続で前年を上回った。

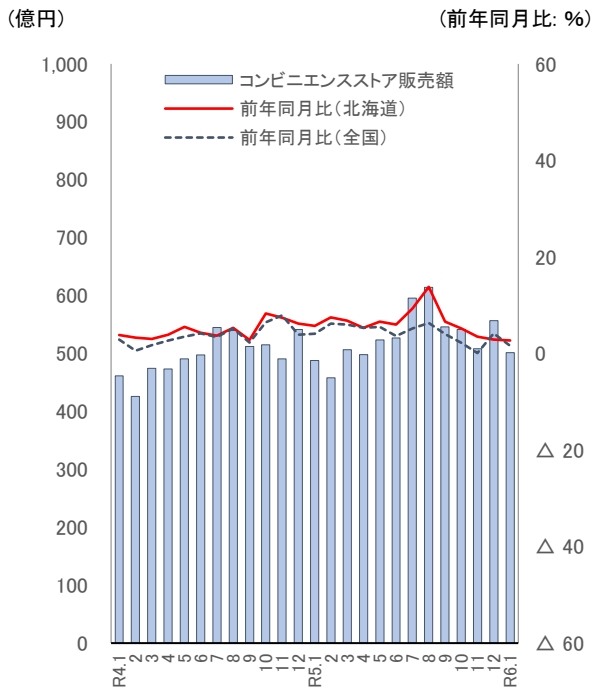
(億円) (前年同月比: %)



(資料:北海道経産局、経済産業省)

コンビニエンスストア販売額(1月)

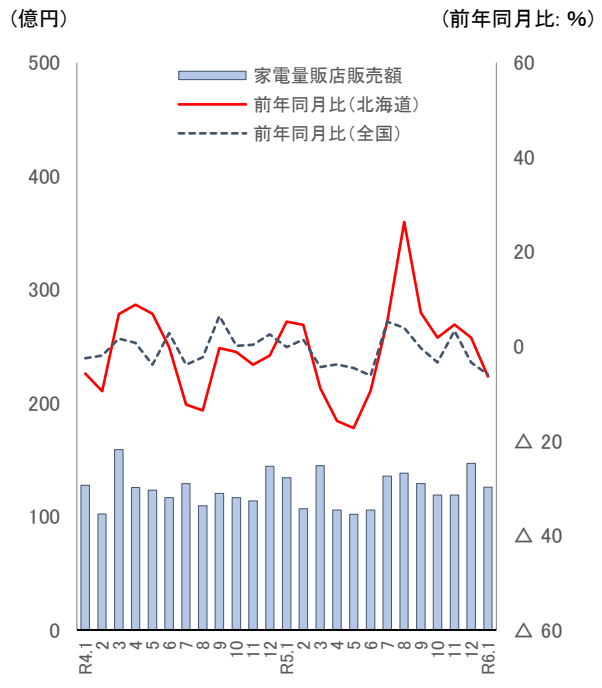
コンビニエンスストア販売額は、501億円で前年同月比+2.7%となり、27か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

家電大型専門店販売額(1月)

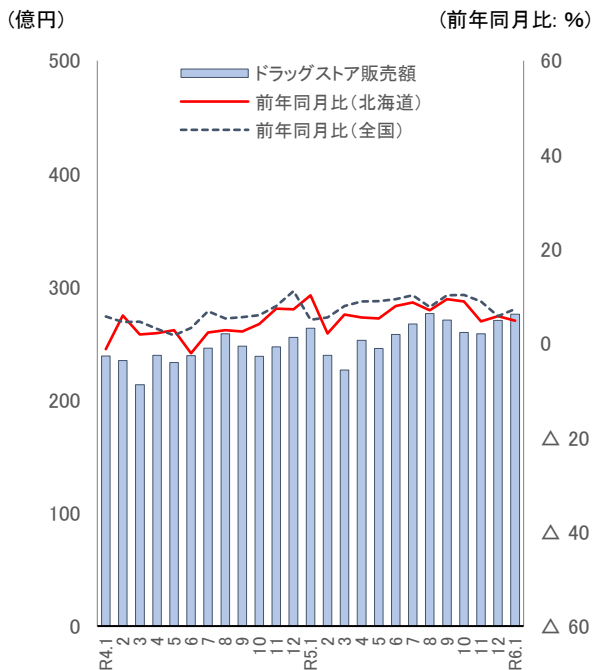
家電大型専門店販売額は、126億円で前年同月比△6.4%となり、7か月ぶりに前年を下回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

ドラッグストア販売額(1月)

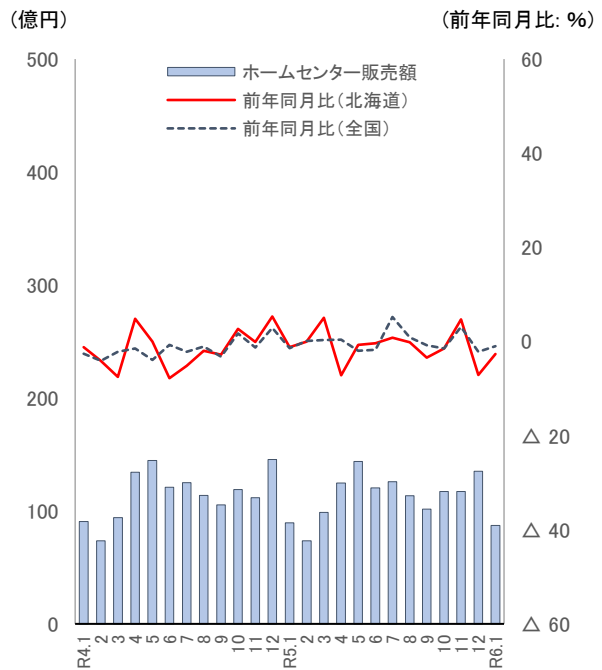
ドラッグストア販売額は、276億円で前年同月比+4.8%となり、19か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

ホームセンター販売額(1月)

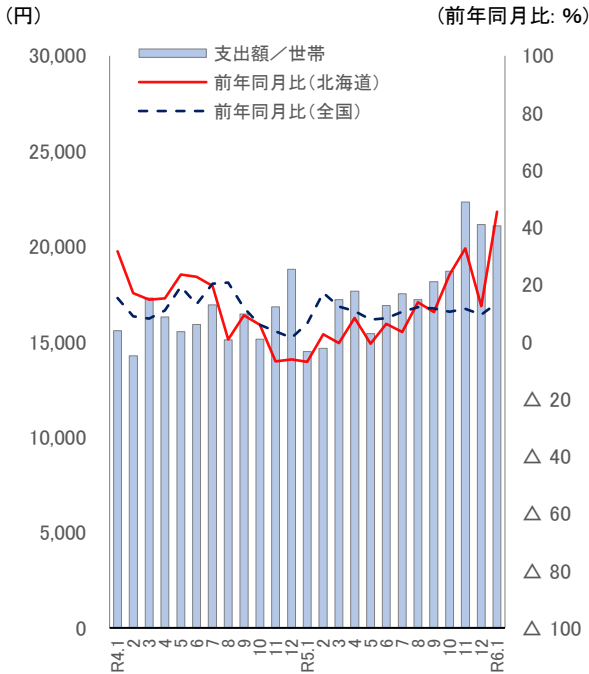
ホームセンター販売額は、87億円で前年同月比△2.7%となり、2か月連続で前年を下回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

インターネットを利用した1世帯あたり1か月間の支出(1月)

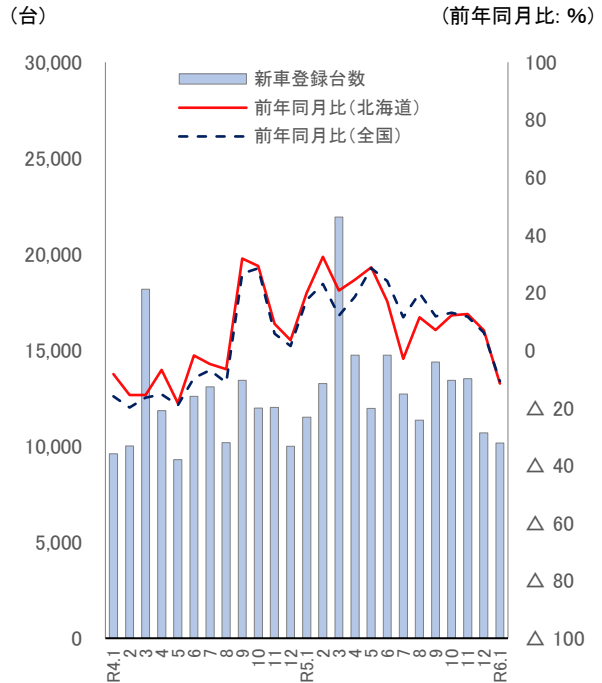
インターネットを利用した1世帯あたり1か月間の支出総額は、21,083円で前年同月比+45.5%となり、8か月連続で前年を上回った。



(資料: 総務省)

新車登録台数(1月)

新車登録台数は、10,174台で前年同月比△11.6%となり、6か月ぶりに前年を下回った。

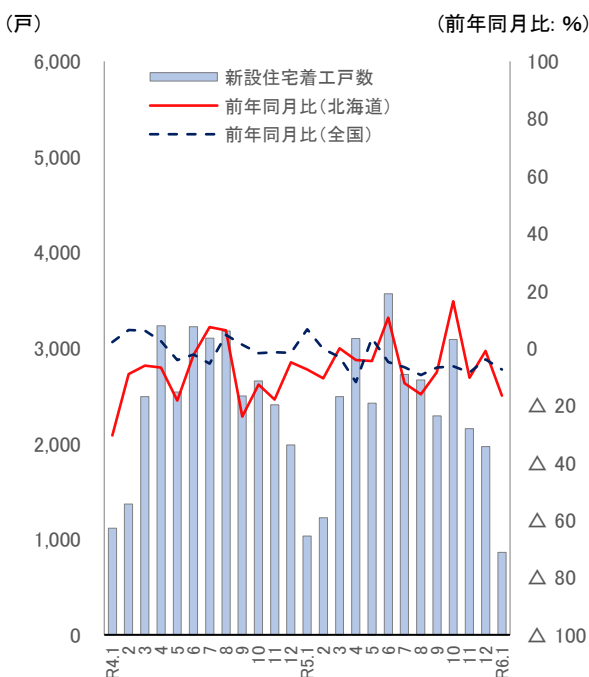


(資料: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車販売協会連合会)

住宅建設～減速感が強まっている

新設住宅着工戸数(1月)

新設住宅着工戸数は、862戸で前年同月比△16.6%となり、3か月連続で前年を下回った。

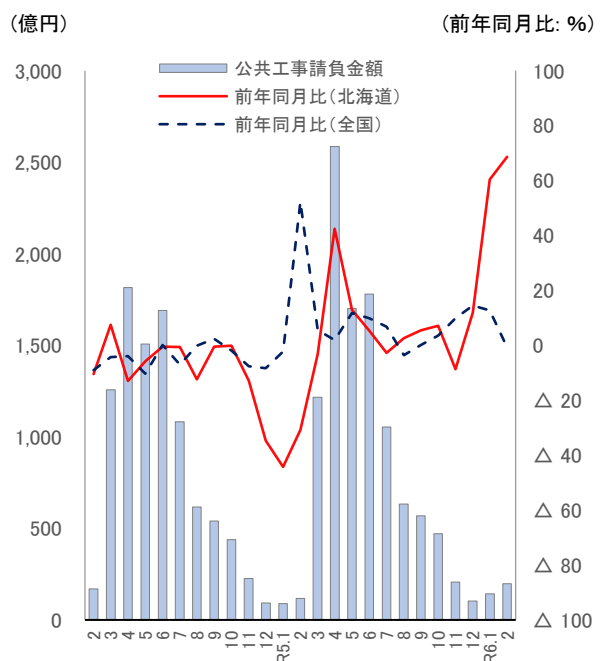


(資料: 国土交通省)

公共工事～持ち直しつつある

公共工事請負金額(2月)

公共工事請負金額は、198億円で前年同月比+68.6%となり、3か月連続で前年を上回った。

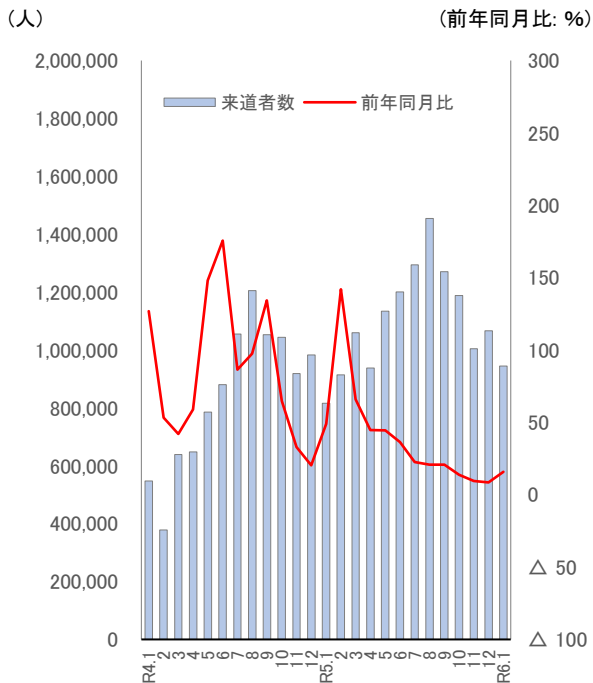


(資料: 北海道建設業信用保証(株))

■観光～着実に改善を続けている

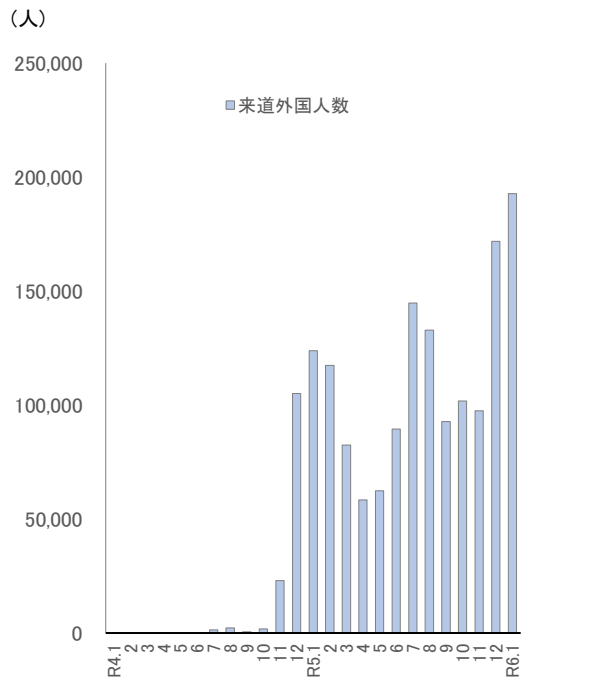
来道者数(1月)

来道者数は、944,464人で前年同月比+15.8%となり、27か月連続で前年を上回った。



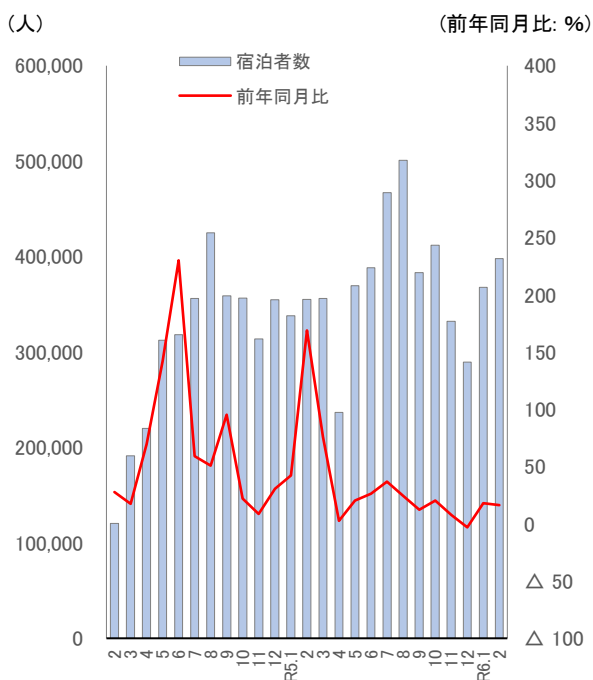
来道外国人数(1月)

本道に直接入国した外国人は、192,772人となった。



宿泊者数(2月)

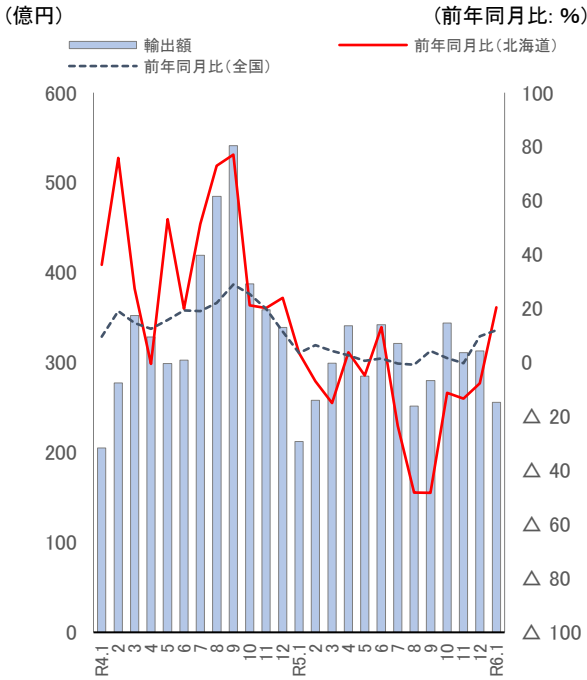
日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は、397,906人で前年同月比+16.3%となり、2か月連続で前年を上回った。



■輸出入～輸出額は前年を上回り、輸入額は下回った

輸出額(1月)

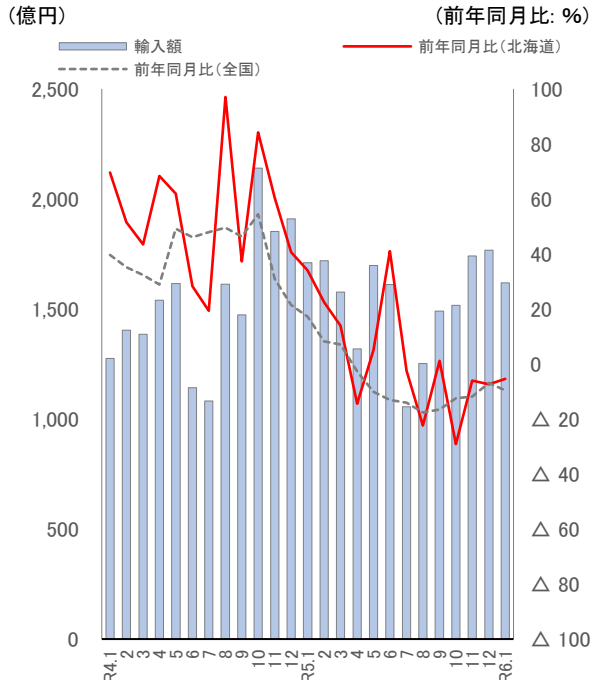
輸出額は、256億円で前年同月比+20.4%となり、7か月ぶりに前年を上回った。



(資料:財務省)

輸入額(1月)

輸入額は、1,618億円で前年同月比△5.4%となり、4か月連続で前年を下回った。

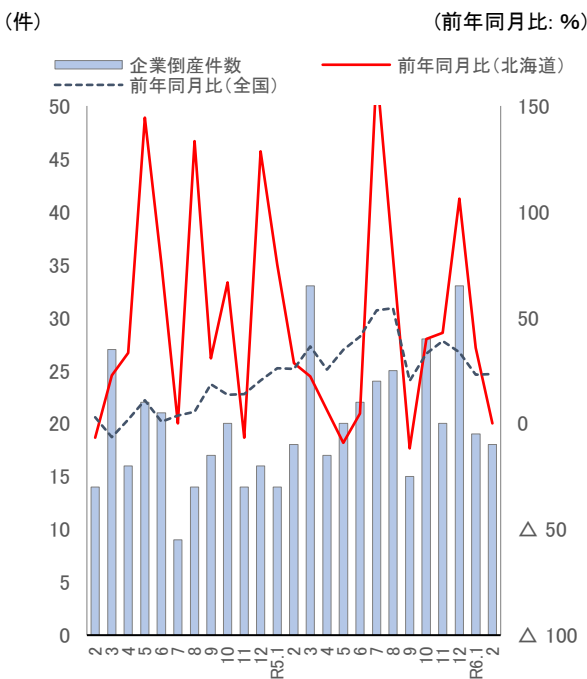


(資料:財務省)

■企業倒産～企業倒産は前年と変わらず、負債総額は減少した

倒産件数(2月)

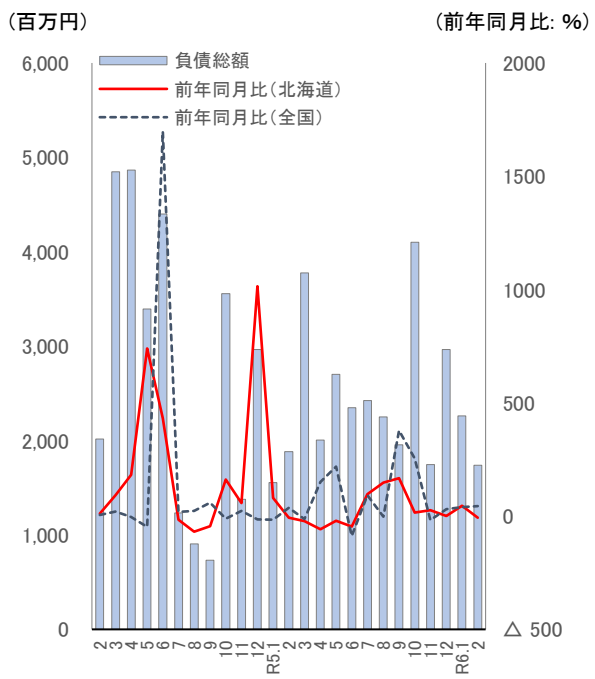
企業倒産件数は、18件で前年同月と同数となった。



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

負債総額(2月)

負債総額は、1,737百万円で前年同月比△7.8%となり、8か月ぶりに前年を下回った。

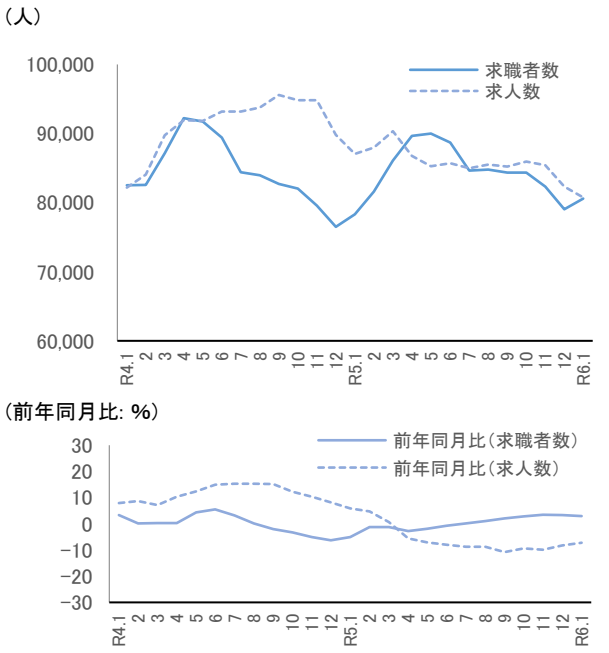


(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～持ち直しの動きにやや弱さがみられる

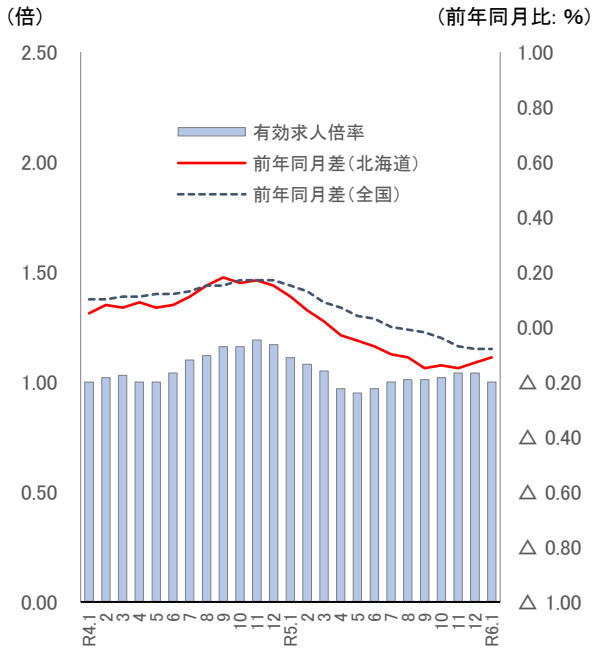
月間有効求人数・求職者数(1月)

月間有効求職者数は、80,569人で前年同月比+2.9%となり、7か月連続で前年を上回った。
 月間有効求人数は、80,752人で前年同月比△7.2%となり、10か月連続で前年を下回った。



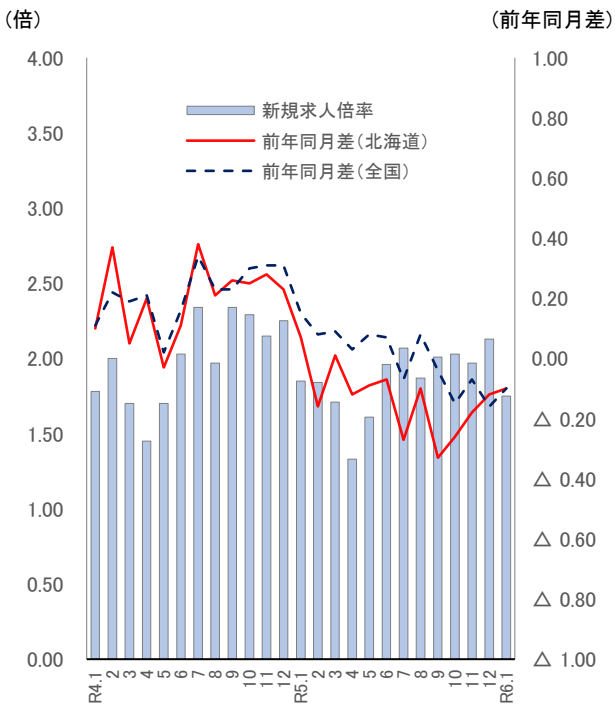
月間有効求人倍率(1月)

月間有効求人倍率は、1.00倍で前年同月差△0.11ポイントとなり、10か月連続で前年を下回った。



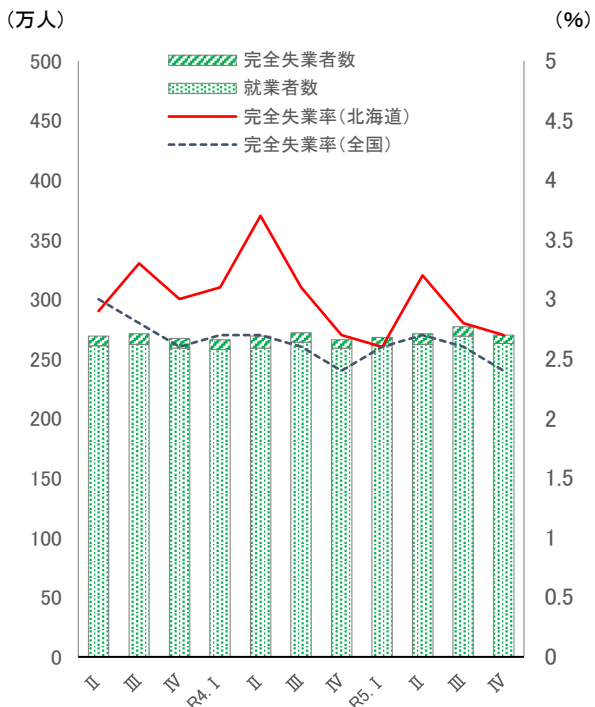
新規求人倍率(1月)

新規求人倍率は、1.75倍で前年同月差△0.10ポイントとなり、10か月連続で前年を下回った。



完全失業者数(率)(令和5年10~12月期)

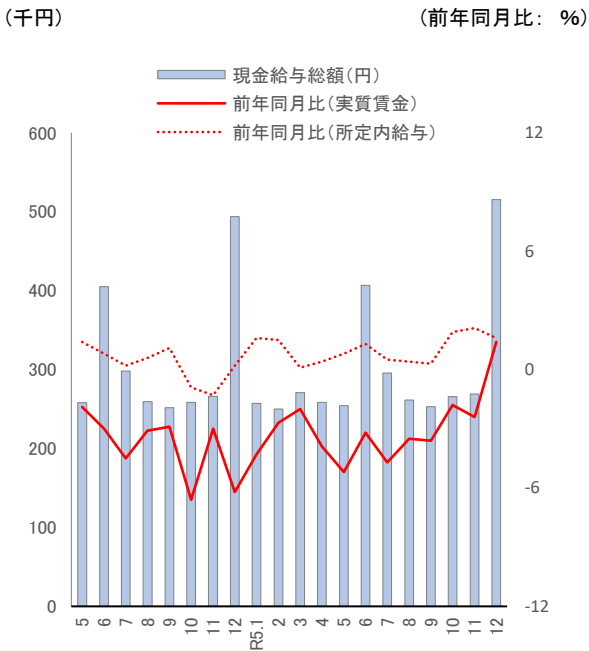
完全失業者数は、7万人で前年同期差+0万人となった。
 完全失業率は、2.7%で前年同期差+0.0ポイントとなった。



■物価～
消費者物価指数は前年を上回った

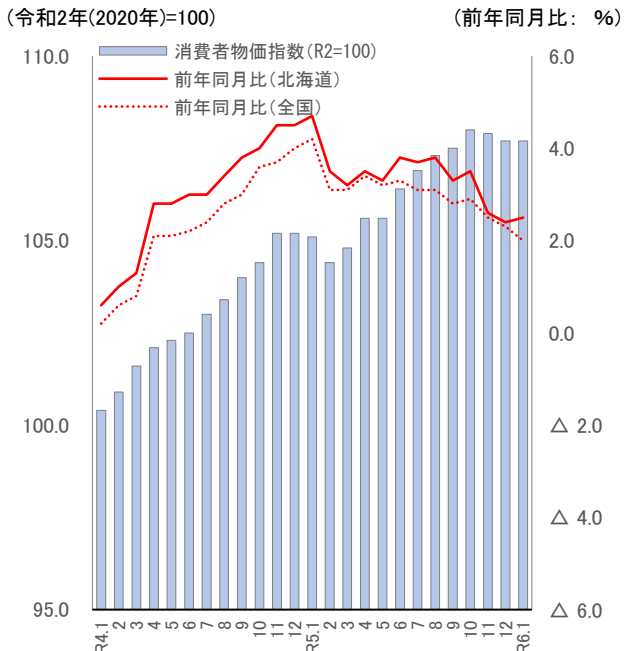
毎月勤労統計地方調査(12月)

現金給与総額は、515,299円で、5か月連続で前年を上回った。実質賃金は、23か月ぶりに前年を上回った。



消費者物価指数(1月)

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、107.7で、前年同月比+2.5%となり、31か月連続で前年を上回った。



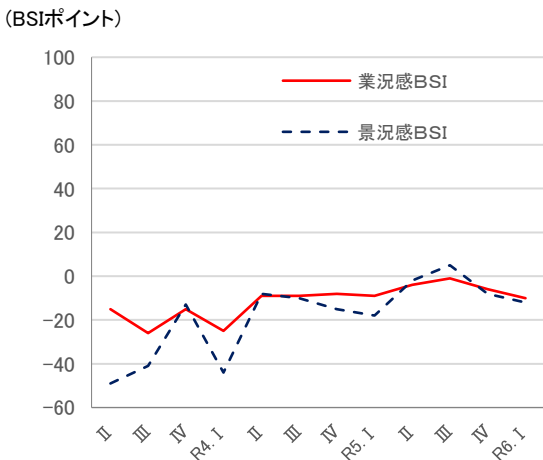
(資料:総務省)

■企業経営者意識調査～
前期から下降している

令和5年10～12月期(第IV四半期)

令和5年10～12月期(第IV四半期)の業況感BSIは△6ポイントで前期差△5ポイント、前年同期差+2ポイントとなった。

来期見通しは、△10ポイントで、今期から △4ポイントとなった。



※BSIポイント
「上昇」と回答の割合(%)-「下降」と回答の割合(%)

※業況感BSI
自社の業況について、前年同時期との比較で「上昇」、「横ばい」、「下降」を回答

※景況感BSI
道内の景気について、直前の四半期との比較で「上昇」、「横ばい」、「下降」を回答

(資料:北海道経済部調べ)

■企業のみなさまから伺いました

◆コンビニエンスストア（道央地域）

- ◎今年の2月は閏年で1日多く、月間では売上、客数とも増加した。札幌では雪まつりが開催され多くの観光客が訪れたため、市内中心部での客数増加の好影響が見られた。
- ◎おにぎりや弁当、パン、菓子などが好調に推移しており、観光客以外の人流も昨年より回復しているとみられる。

◆スーパー（道央地域）

- ◎2月は、売上・客数ともに前年を上回った。継続的に売上は好調、客数も前年より伸長しており、買上点数も回復傾向にあることから、お客様の節約志向、買い控えの傾向は落ち着きつつある様子。

◆スーパー（道央地域）

- ◎1月は、売上・客数ともに若干ではあるが前年を下回った。年が明けてからもお客様の節約志向は続いており、メリハリ消費の傾向も見受けられる。
- ◎足下3月は、ひな祭り商品が好調。客数は前年を下回っているが、販売額は上回っており、単価が高めの商品の動きがよい模様。

◆百貨店（道央地域）

- ◎2月は、売上・客数ともに前年を大きく上回った。北海道の一大イベント「さっぽろ雪まつり」の4年ぶり全面開催など、冬の観光シーズンが本格化する中、円安も追い風となっており、インバウンド需要の好調が続く。また、今年のパレタイン商戦は活況、売上は前年を大きく上回った。
- ◎札幌市内再開発による人流の活発化やにぎわい創出の影響も大きい。

◆ホームセンター

- ◎1月は売上・客数ともにほぼ前年並みとなった。
- ◎年明け以降、積雪量が急増し、除雪用品に加え、除雪機、融雪機の売上が伸長。
- ◎お客様の節約志向に変化はないが、3月に入り、日用消耗品やインテリアなど、新生活関連用品の動きは良い。

最近の経済動向

(ダイジェスト版)

令和6年3月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/saikin-doukou.html>